816,006	441,010	△ 5,729	805,581	435,376	△ 5,634	795,327	429,834	△ 5,542	785,241	424,383	△ 5,451	775,320	419,021	△ 5,362
6,444,155	5,235,379	△ 117,680	6,354,229	5,170,103	△ 65,276	6,151,023	4,989,726	△ 180,377	6,086,658	4,943,132	△ 46,594	6,023,246	4,897,185	△ 45,947
歳入額	一般財源	一般財源の前年度対比増減額	歳入額	一般財源	一般財源の前年度対比増減額	歳入額	一般財源	一般財源の前年度対比増減額	歳入額	一般財源	一般財源の前年度対比増減額	歳入額	一般財源	一般財源の前年度対比増減額
853,595	789,684	12,486	882,252	819,391	29,707	778,171	716,342	△ 103,049	843,287	782,233	65,891	786,730	726,673	△ 55,560
506,369	389,256	△ 16,111	491,178	375,989	△ 13,267	476,443	363,145	△ 12,844	462,150	350,271	△ 12,874	448,286	338,234	△ 12,037
338,054	215,381	△ 10,927	327,912	207,255	△ 8,126	318,075	199,399	△ 7,856	308,533	191,344	△ 8,055	299,277	184,002	△ 7,342
1,001,742	269,437	△ 44,554	961,672	241,401	△ 28,036	923,205	214,761	△ 26,640	886,277	186,709	△ 28,052	850,826	162,682	△ 24,027
0	0	△ 9,788	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	△ 9,788	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,889,673	2,800,395	△ 18,874	2,864,939	2,781,915	△ 18,480	284,957	206,682	△ 2,575,233	265,837	191,764	△ 14,918	201,965	127,892	△ 63,872
2,558,450	2,547,447	6,162	2,558,449	2,553,708	6,261	0	0	△ 2,553,708	0	0	0	0	0	0
740,197	670,326	△ 28,303	713,285	644,562	△ 25,764	687,449	619,854	△ 24,708	662,647	595,899	△ 23,955	638,837	573,179	△ 22,720
114,525	100,900	△ 1,609	112,991	99,590	△ 1,310	2,682,723	2,669,543	2,569,953	2,657,927	2,644,912	△ 24,631	2,797,325	2,784,523	139,611
6,444,155	5,235,379	△ 117,680	6,354,229	5,170,103	△ 65,276	6,151,023	4,989,726	△ 180,377	6,086,658	4,943,132	△ 46,594	6,023,246	4,897,185	△ 45,947
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0			0			0			0			0		
0			0			0			0			0		
0			0			0			0			0		

(2)　特別会計（特別会計のうち法第２条第１号イロハに掲げる以外のもの）：変更前に同じ

(3)　一般会計等の実質収支：変更前に同じ

2　連結実質収支：変更前に同じ

3　実質公債費比率：変更前に同じ

4　将来負担比率：変更前に同じ

第６　再生振替特例債の各年度ごとの償還額：変更前に同じ

第７　各年度ごとの健全化判断比率の見通し：変更前に同じ

第８　その他財政の再生に必要な事項：変更前に同じ

二　健全化法第十条第六項の規定による協議の結果　同意

○外務省告示第三百五十六号

平成二十二年十二月七日にロンドンで署名された脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得についての課税権の配分に関する日本国政府とケイマン諸島政府との間の協定について、我が国政府及びケイマン諸島政府は、同協定の効力発生のために必要とされる内部手続の完了を書面により相互にそれぞれ通知し、平成二十三年十月十四日にこれらの通知が受領された。よって、同協定は、その第十八条１の規定に従い、平成二十三年十一月十三日に効力を生ずる。

平成二十三年十月十九日

外務大臣　玄葉光一郎

○経済産業省告示第二百十二号

中小企業支援法（昭和三十八年法律第百四十七号）第三条第一項の規定に基づき、平成二十三年度における中小企業支援事業の実施に関する計画を定めたので、同条第三項の規定に基づき、その要旨を告示する。

平成二十三年十月十九日

経済産業大臣臨時代理
国務大臣　安住　淳

平成23年度中小企業支援計画

Ⅰ．中小企業を取り巻く環境

平成22年度の中小企業の現況は総じて持ち直しの動きが見られていたが、東日本大震災の発生により、東北地方沿岸部を中心に、甚大な被害を受けたばかりでなく、原子力発電所の事故や電力供給制約等、様々なマイナス要因が生じ、業況は大幅に悪化した。